事例No.	1234
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	岡山県津山市

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・関係人口 ・地域運営組織

事例種類	移住促進

事例内容・タイトル

津山をよく知ってもらえるようにサポート

出典

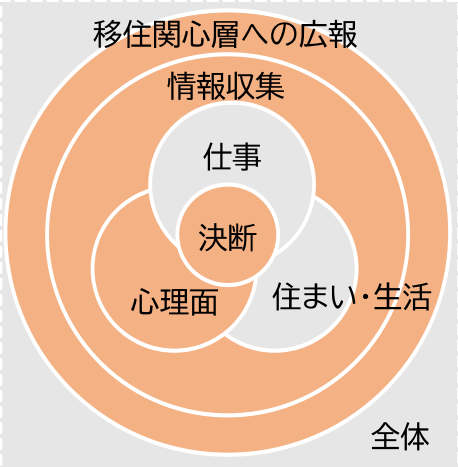
「地方への人の流れの創出」に向けた効果的移住定住推進施策事例集

（14）岡山県津山市　津山をよく知ってもらえるようにサポート

■津山市の取り組みの特長・ポイント

◆ トライアルステイでは、利用者のニーズに合わせたアテンドも行っている。移住を急いでいないなら、**様々な季節に訪れて暮らしを体感してもらい、「津山市が良い」と納得して**移住してもらっている。
◆ 年2回のIJUターン・カフェは、**交流会だけでなく、より深く津山市を知る企画**にすることで、移住したての人・移住後しばらく経つ人の両方が参加し、**移住者ネットワークが充実**してきている。

■特徴的なフェーズ



地域	立地特性	人口規模	時間距離
中国	山・内陸	中・10.1	5時間

■移住定住施策の取り組み体制

- 主管課：産業文化部仕事・移住支援室2名＋移住コンシェルジュ2名
- 現在の体制に至るまでの経緯：2015年度・移住コンシェルジュ、2018年度に移住サポートセンターを設置
- 近年の動向：**相談件数は毎年約1000件、移住者は約150人。令和2年度は前年比で相談数1.3倍、移住者数も微増。**近畿・中国地方からの移住者が多い。**若年層もいるが、60歳代が最も多い。**

① 移住関心層への広報・② 情報収集段階

YouTube

- **地元高校生に、進学前に津山市企業のことを知ってもらう**目的で、授業で動画を作っている。**大学に進学しても戻ってきてくれることを期待**して実施している。

SNS合戦

- 津山市の面白いこと・良いことをInstagramにアップして競争する取り組み。若者に対して実施。いいね！数は増えたので、より多くの人にプロモーションはできたと思っている。

告知方法の選び方

- 対面相談会は雑誌等による告知、オンライン相談会はオンラインでの告知が効果的な印象である。

⑤ 心理面のサポート・⑥ 決断する段階

- 慌てずに段階を経て移住を決める方が失敗も少ないため、**急いでいないなら、いい時期だけでなく、夏も冬も見てもらい、色々な場所を案内している。仕事探し等、用途に合わせて何度かトライアルステイを利用する人も多い。ステイの合間にも連絡を取り、移住者交流会等の案内も行っている。**

■その他の特徴のある取り組みについて

IJUターン・カフェ

- 年2回、移住者同士のネットワークを広げる取り組みとして開催。**ワークショップ・まちなみ保存地区をガイド付きで散策する等、津山市をより深く知るためのイベントの後、ランチや交流会を行う。移住したての人だけでなく、移住後しばらく経つ人の参加もあり、毎回、好評。**



IJUターン・カフェの様子
出所：津山市提供